



さいたま新都心に一番近い学校

# 下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 7 年 1 月 号  
令和 7 年 1 月 7 日  
さいたま市立下落合小学校  
電話 852-2280  
FAX 852-0188  
E-Mail  
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

## ふしぎをひらく 金のかぎ

校長 小田切 倫子

新しい年が明けました。“ラッキー7”の令和7年、幸せがいっぱいの一年になるといいですね。

さて、表題の「ふしぎをひらく 金のかぎ」とは、一体何だろう？と思った方もいらっしゃると思いますが、下落合小学校の子どもなら誰でも知っているフレーズです。そう、本校校歌の2番に出てくる歌詞です。音楽好きの私としましては、今年度、下落合小学校に着任してすぐに音楽専科教員から校歌の楽譜をもらって歌ってみたのですが、この無限の可能性を感じさせる何とも魅力あふれる言葉には、ビビッときました。成長過程にある子どもたちは、できなかったことができるようになったり、知らなかったことを理解できるようになったりといったことの連続で、毎日たくさんの「金のかぎ」を手に入れていると言っても過言ではないでしょう。成長とは、素晴らしいですね。年の初めの今月号では、この「金のかぎ」を「成功の責任追及」という言葉に置き換えて考えてみたいと思います。“責任追及”などと言うととてもきつい印象を受けると思うのですが、前につける言葉は『失敗』ではなく『成功』ですので、うまくいったことに着目して、なぜうまくいったかを考えるという、ポジティブな思考です。「成功のかぎ」と言えば分かりやすいでしょうか。例えば、縄跳びの二重跳びができるようになったとします。成功の責任追及をしてみると、縄跳びを回す手の位置を修正したことがよかったのかもしれないし、跳んだ時の姿勢を意識したことがよかったのかもしれない。あるいはできなくてもあきらめずにコツコツ努力をしたことがよかったのかもしれない。また、今日は忘れ物をしなかったとします。前の日、いつもなら寝る前にやっているところを、ご飯を食べる前の早い時刻に準備をしたことがよかったのかもしれないし、テレビを消して集中して行ったことがよかったのかもしれない。これらのことが「金のかぎ」です。このように振り返ることで学びの要素の輪郭が明らかになりますし、次なる学びへのステップとしても生かされることでしょう。そして何より、前向きな追及ですから気持ちも明るくなりますよね。お子さんへの“責任追及”は、「どうして上手くいったの？」と、どうぞ『成功』した時にこそやってみてください。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

